

# 社の都産業保健会がん発見率

(2023年度データ)

2025.3 発表

# NHK BS1スペシャル

## 『私たちのデジタル医療革命2021』(2021.1.2放映)に 当会一番町健診クリニックが放映されました!



丸岡 伸所長が胸部AI読影補助装置開発に協力

# 当会がん検診の内容

当会では肺がんは胸部単純X線検査とCT検査、胃がんはバリウム造影検査および内視鏡検査、大腸がんは便の潜血反応検査、子宮がんは超音波、擦過細胞診検査、乳がんはマンモグラフィや超音波検査およびMRI検査などでがん検診を行っております。

# 当会がん発見率の解析方法

2023年度中に**要精密検査**あるいは**要至急検査**として、当会クリニックにて二次検査を行った件数と外部医療機関に二次検査を依頼し、返事を頂いた件数について解析したデータです。したがって**限られた件数の解析**です。

二次検査は、肺ではCTや気管支鏡検査、胃や大腸では内視鏡検査を行い、病理組織検査でがんと判明した例を解析しています。

# 2023年度がん発見率

		計算式	肺がん	胃がん		大腸がん	乳腺		子宮がん	総数
				X線	内視鏡		マンモグラフィ	超音波		
実施件数	A		132,813	38,323	4,011	64,042	7,166	4,730	8,774	259,859
要精検(精密検査)数	B		1,106	393	92	2,849	466	254	143	5,303
要精検率	C	B/A	0.8%	1.0%	2.3%	4.4%	6.5%	5.4%	1.6%	2.0%
* 精検受診者数	D		325	110	74	760	354	107	63	1,793
精検受診率	E	D/B	29.4%	28.0%	80.4%	26.7%	76.0%	42.1%	44.1%	33.8%
がん診断	F		16	5	7	13	20	0	2	63
精検受診者中のがん発見率	G	F/D	4.9%	4.5%	9.4%	1.7%	5.6%	0.0%	3.2%	3.5%
総受診者中のがん発見率(推計)	H	F/(AxE/100)	0.04%	0.05%	0.22%	0.08%	0.37%	0.00%	0.05%	0.07%

\* 精検受診者数は当会二次健診受診者と他医療機関受診後に結果報告のあったものです

# まとめ(1)

- 受診者は肺約13.3万人、胃約4.2万人、大腸約6.4万人、乳腺約1.2万人、子宮約0.9万人。
- 要精検率は肺0.8%、胃0.4%、大腸4.4%、乳腺5.4%、子宮1.6%でした。
- そのうち最終結果が得られたのは、総数で**33.8%**です。
- 紹介先からの**一次検査の報告は大部分得られている**ようですので、**半数以上の方が精密検査を受けておられない**のでは、と心配されます。当会では個人情報の問題もありこれ以上の追跡は困難です。

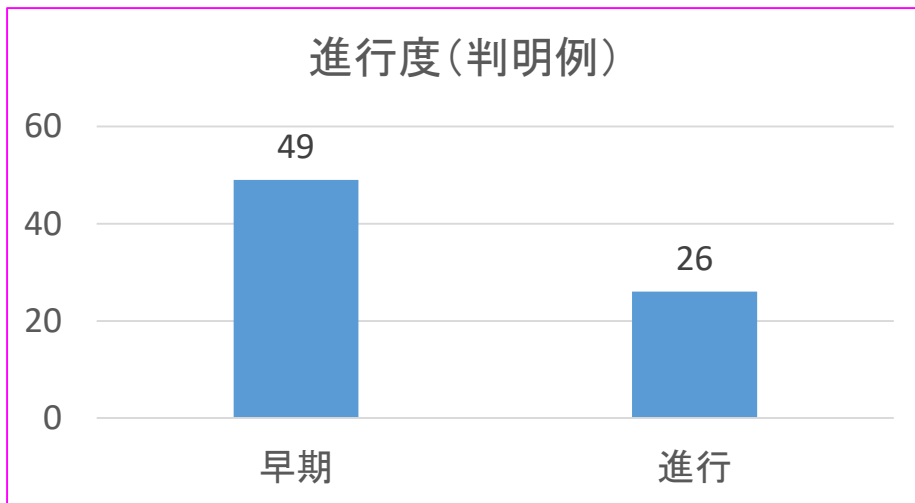
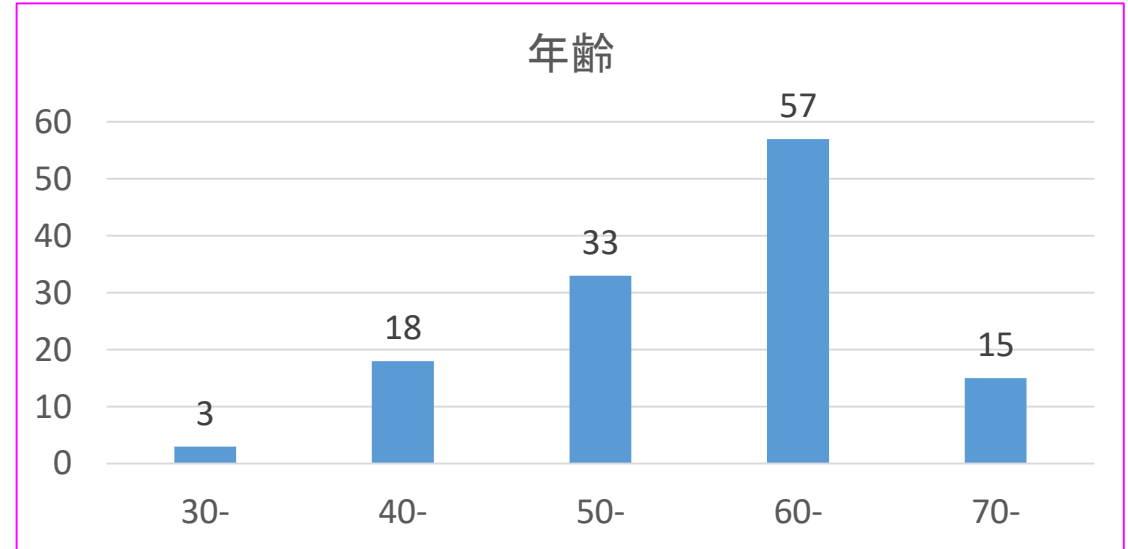
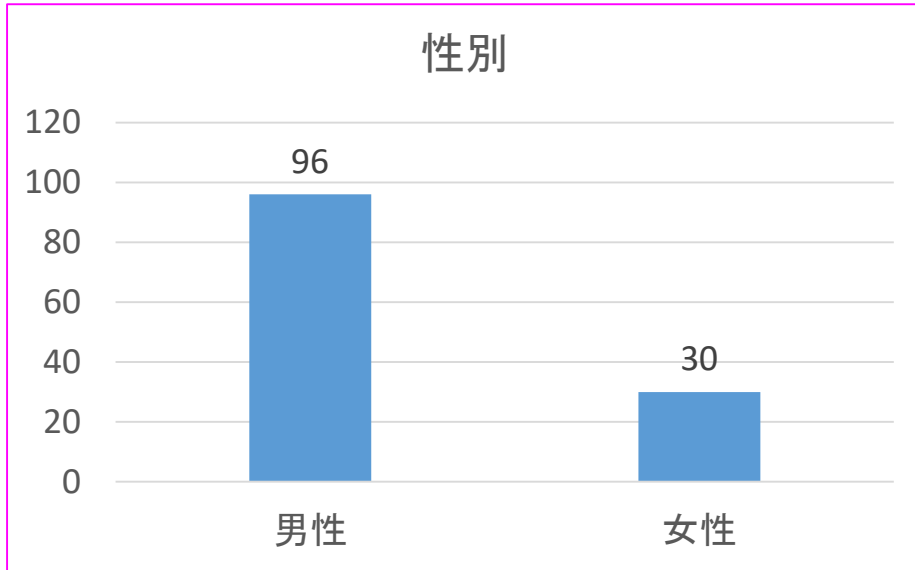
## まとめ(2)

- 報告された結果では、肺がん16例、胃がん12例、大腸がん13例、乳癌20例、子宮がん2例が発見されました。
- 結果判明率から補正して得られた総受診者中のがん発見率は肺がん0.04 %、胃がん0.07 %、大腸がん0.08 %、乳癌0.26 %、子宮がん0.05%でした。
- 当会の5大がん発見率はおよそ0.04%～0.26%と推定されます。

# お願い！

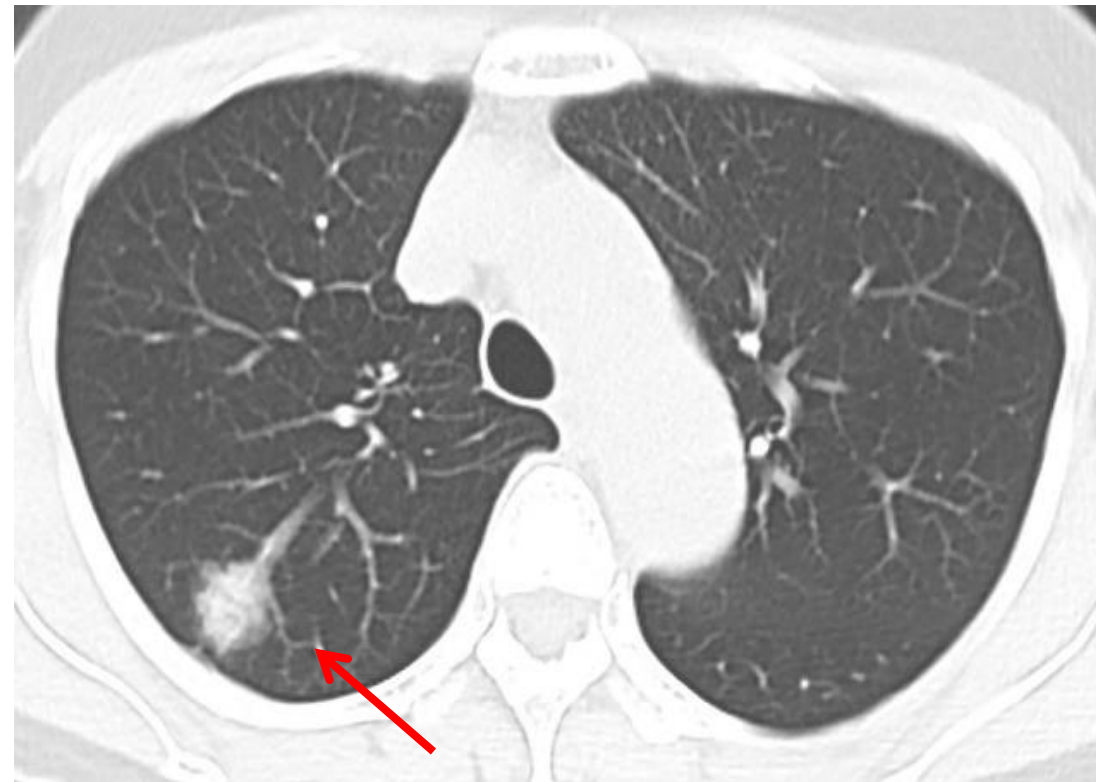
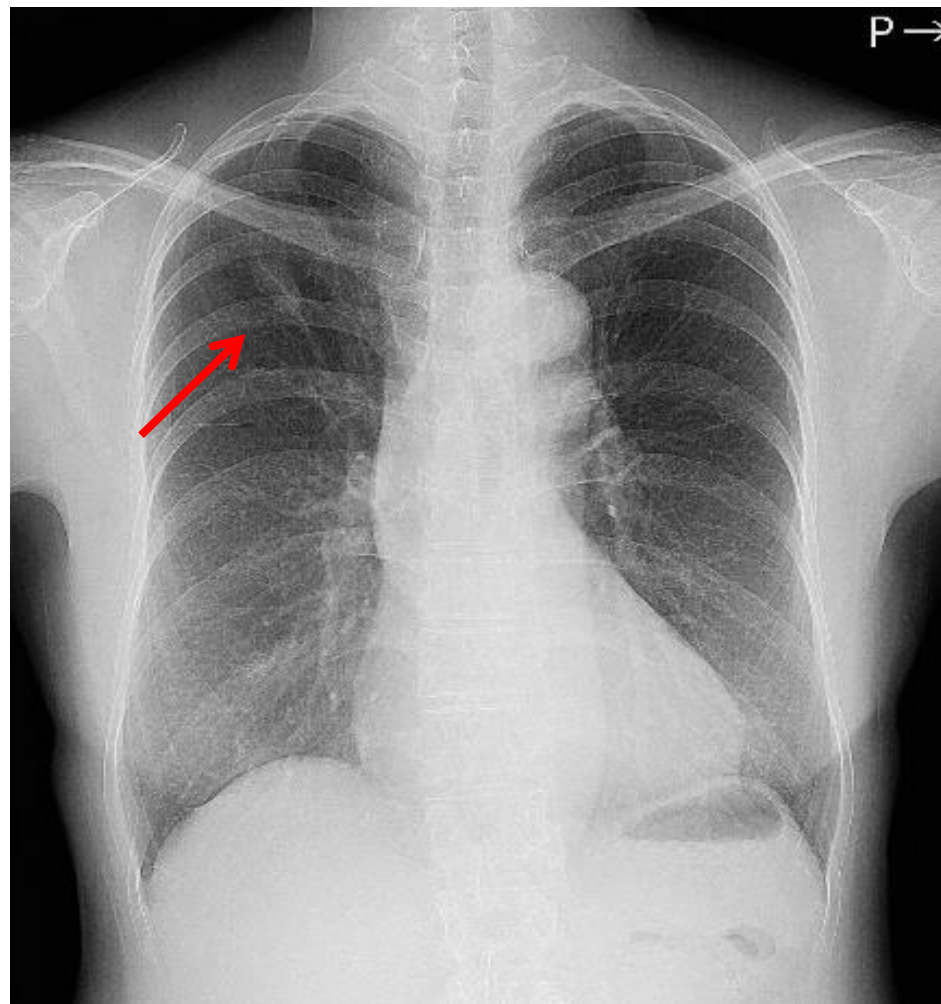
- 健康診断を受けて1年間安心して過ごしましょう。
- 但し！、**症状がある場合には健診結果にかかわらず、病院を受診してください。**
- 万一、精密検査と判定されたら、ご本人、ご家族、職場や社会のためにも、**必ず精密検査を受けてください！**
- 精密検査で**がんと判定される率は5%前後**ですし、ほとんどの場合、早期がんで発見されます。
- 精密検査は**当会一番町健診クリニック**あるいは**大学病院、仙台オープン病院や県立がんセンター**など大きな病院で受けてください。

# 肺がん 2015-2023年度データの解析



肺がんは男性に多く、**30歳代、40歳代の肺がん**の方もおられました。多くが早期癌で発見されていますが、要精検とされたのに病院を受診せず、進行癌で再発見された方もおられます。

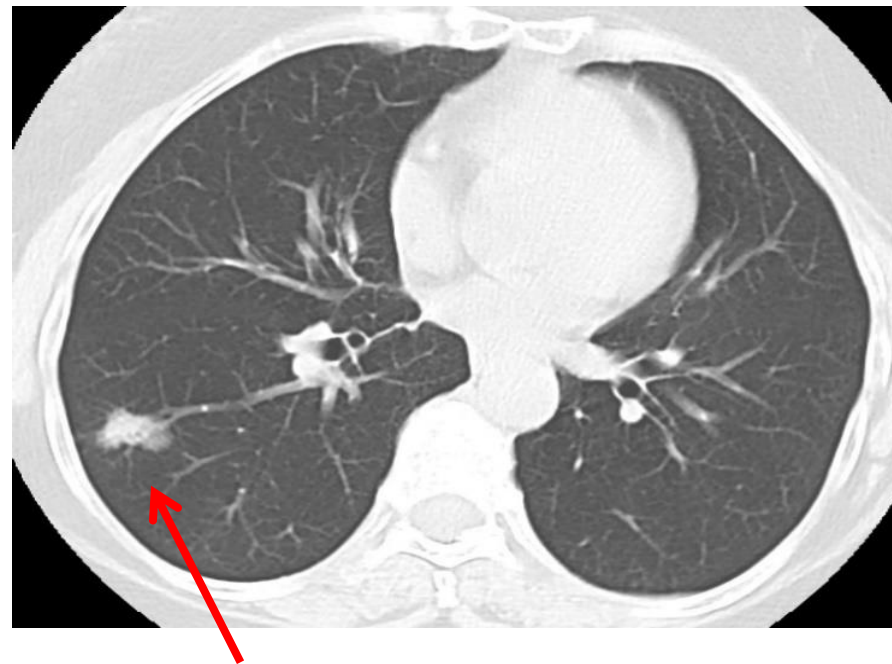
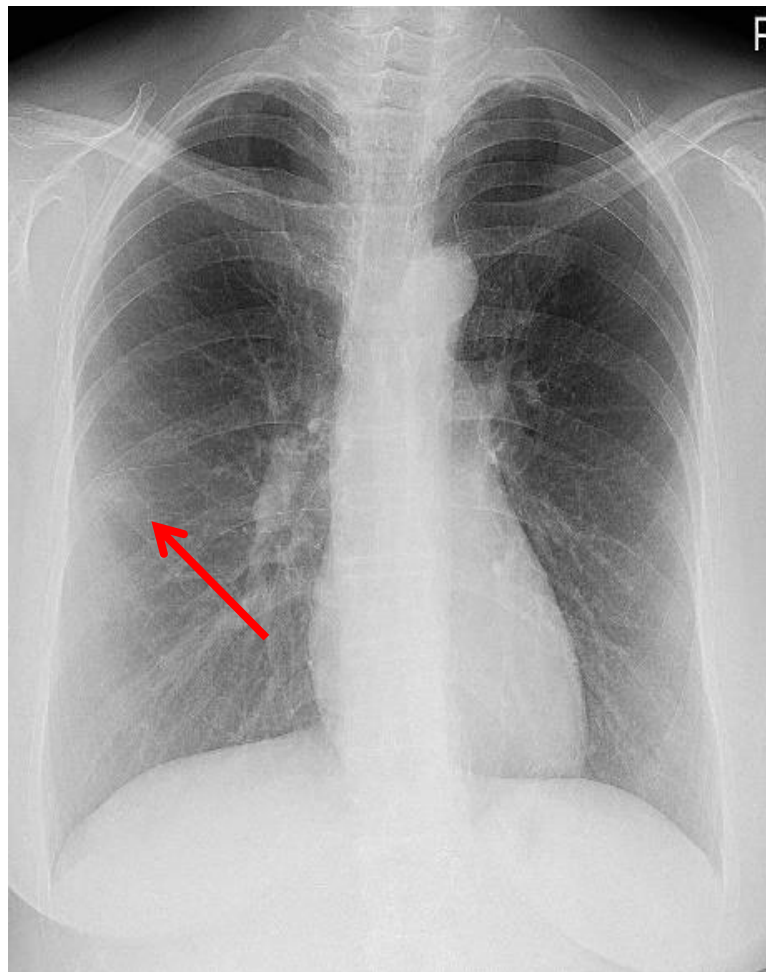
## 2023年度肺癌症例1 50代男性



二次検査CT画像

矢印の先に早期癌があります

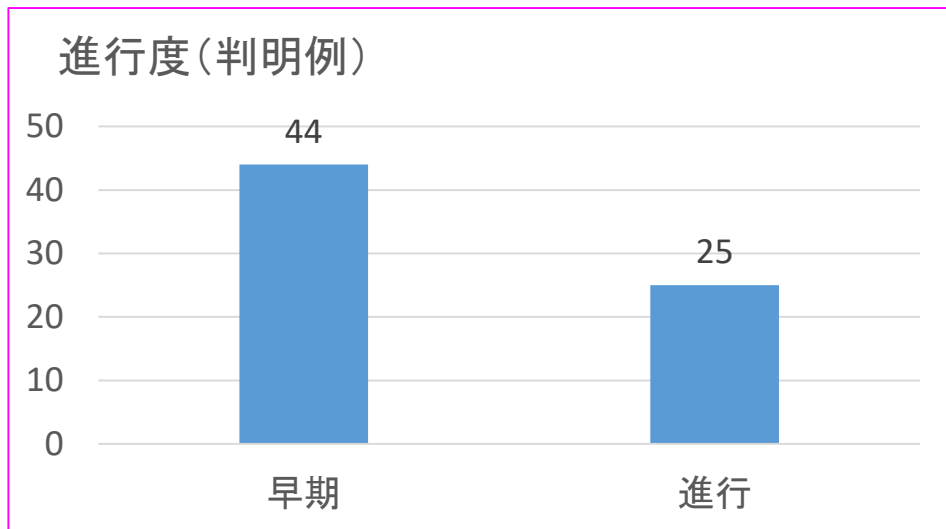
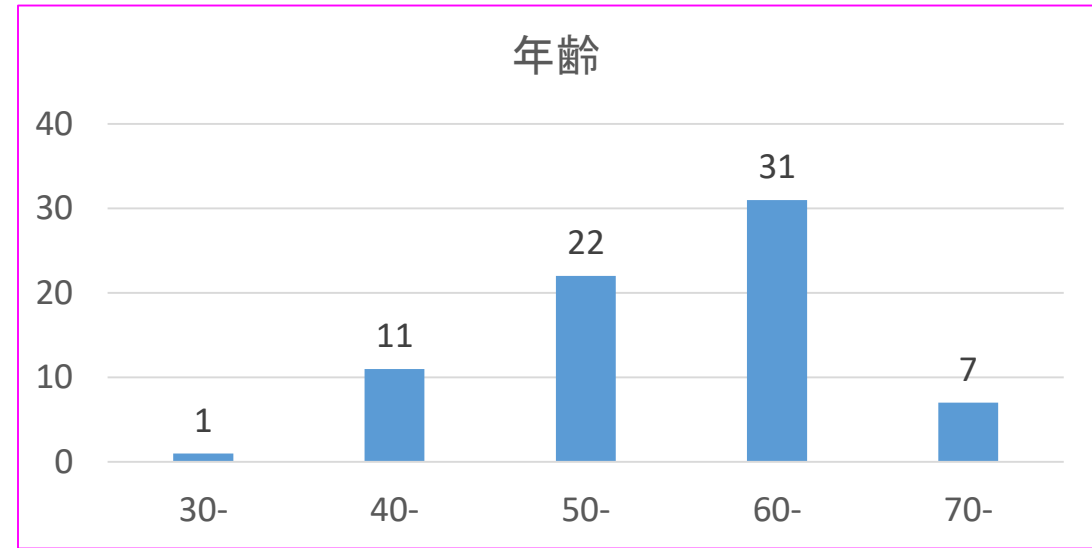
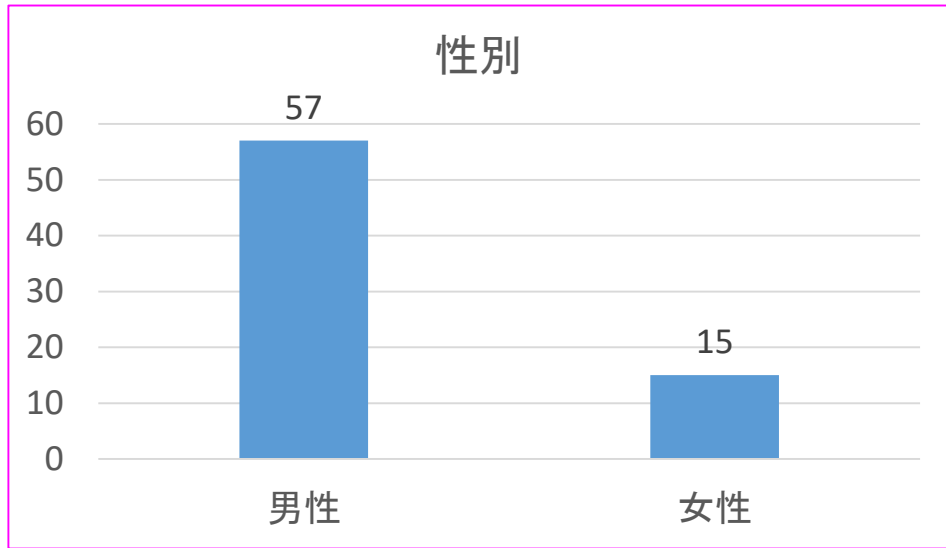
## 2023年度肺癌症例2 50代女性



二次検査CT画像

矢印の先に早期癌があります

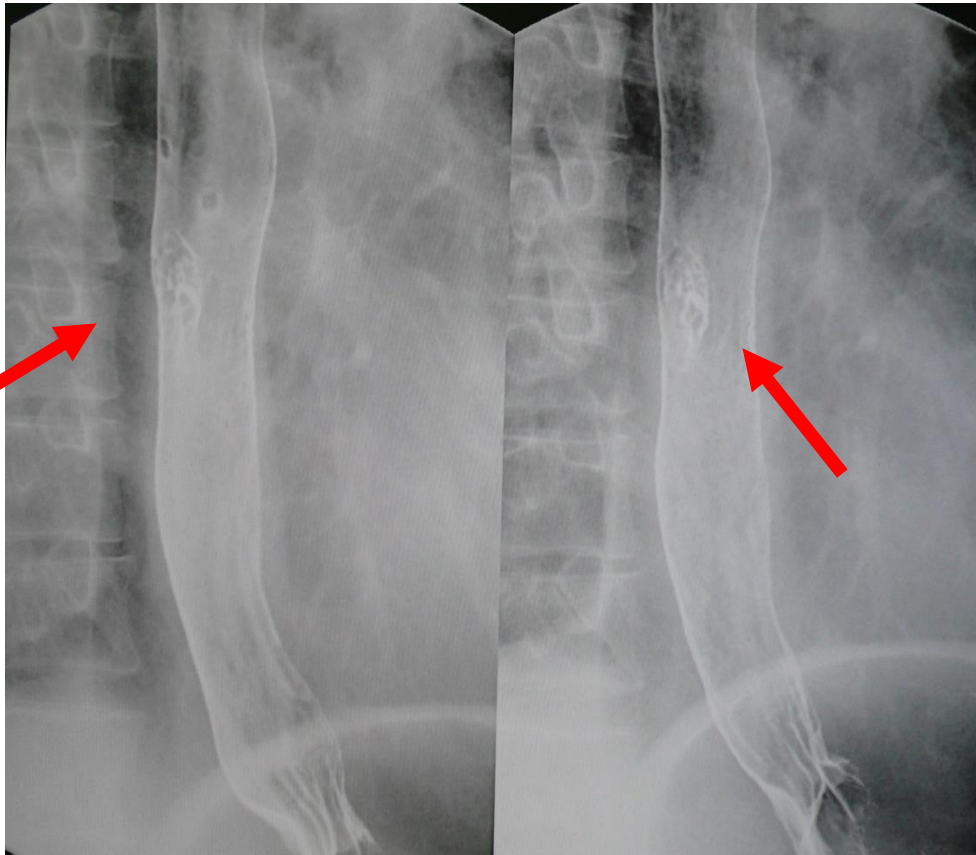
# 胃がん 2015-2022年度データの解析



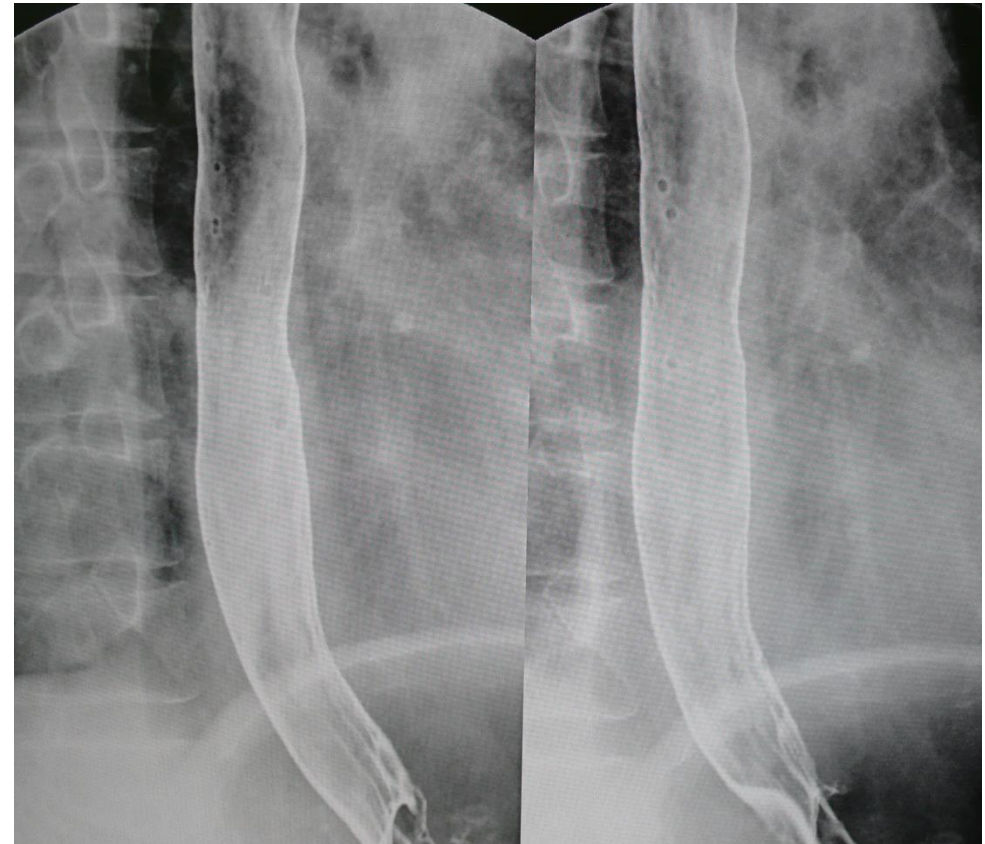
胃がんも男性に多く、**30歳代の胃癌**の方もおられました。多くが早期癌で発見されていますが、1年で急速に進行した方がおられます。ほとんどの方が無症状で、空腹時痛、下痢各1例でした。

# 2023年度食道癌症例

## 症例1 60代男性



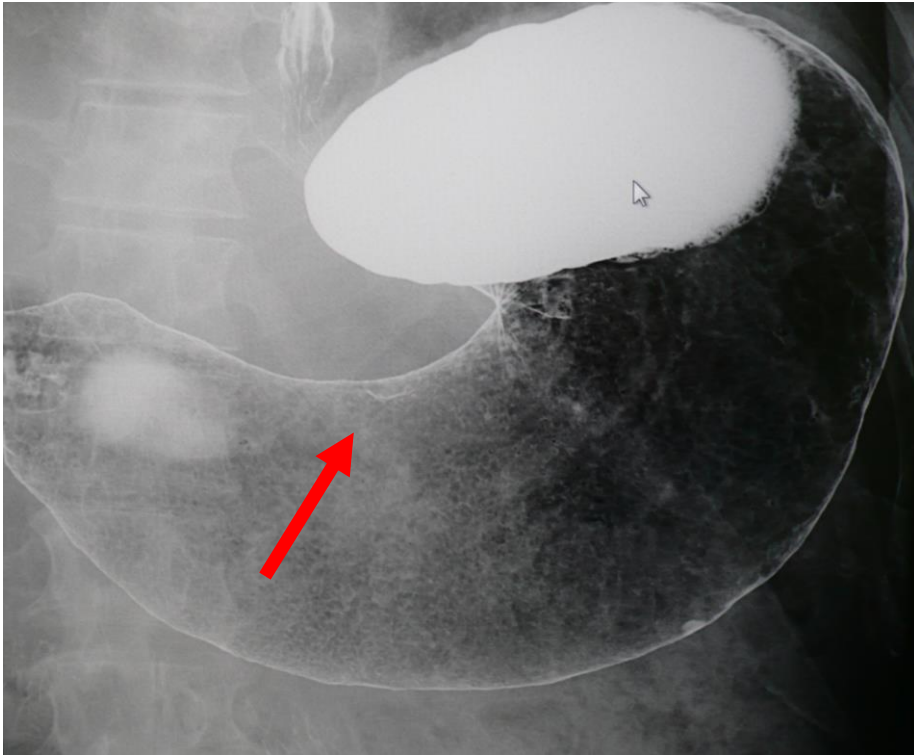
矢印の先に食道癌があります



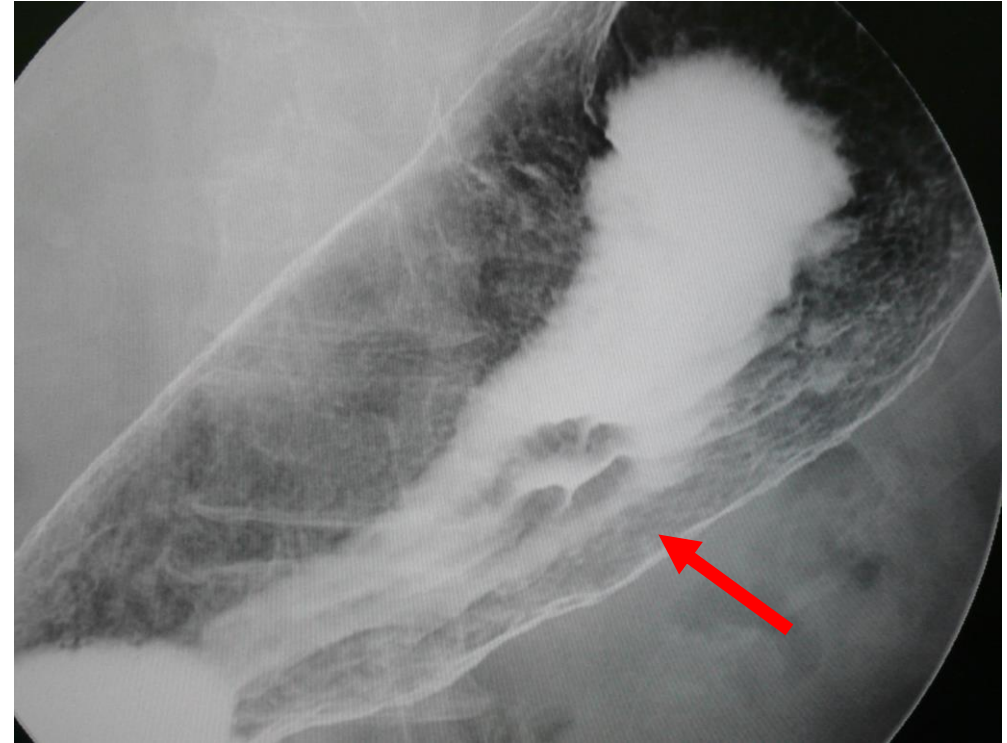
1年前の写真に異常は指摘できません

## 2023年度胃癌症例

症例2 70代男性



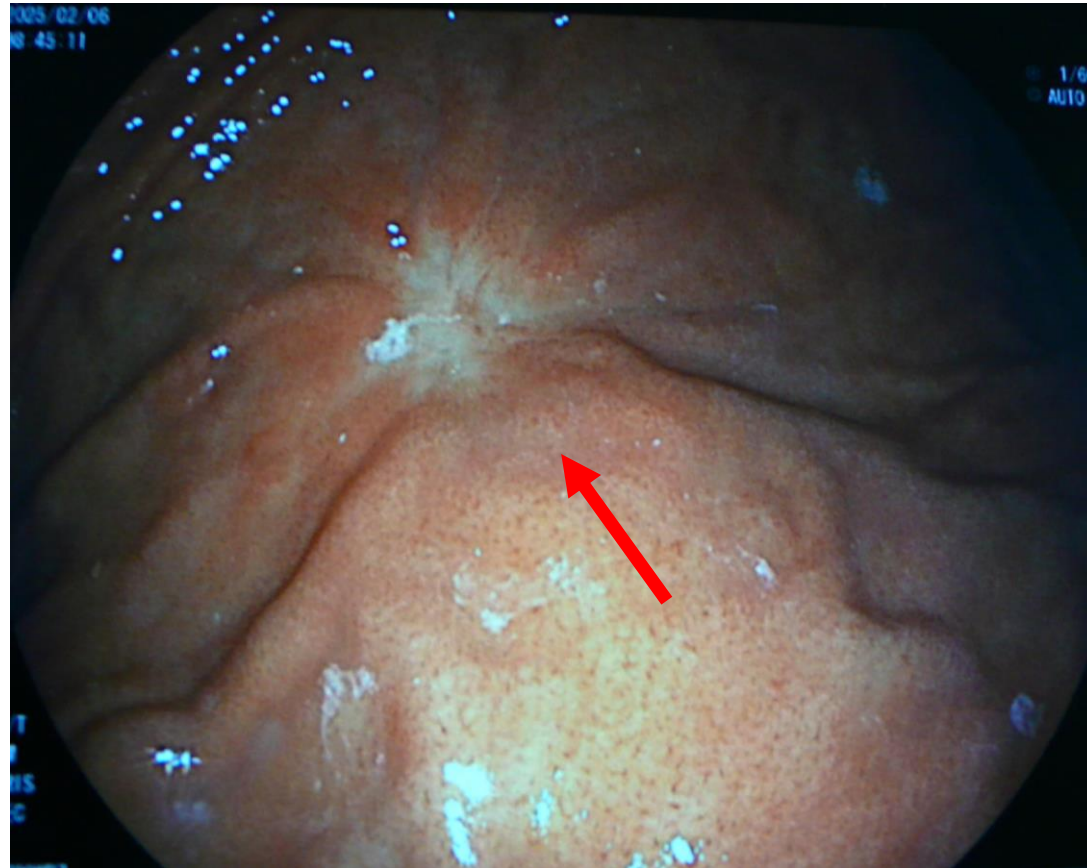
症例3 60代男性



矢印の先に早期癌があります

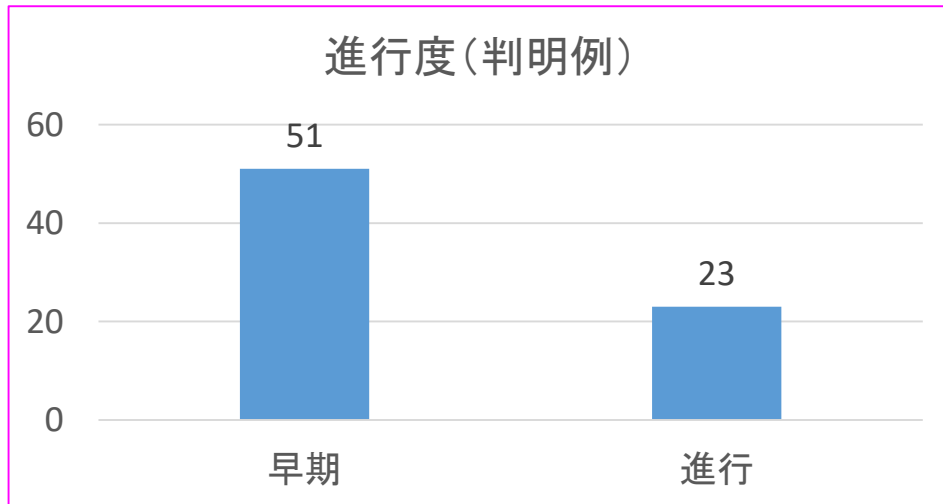
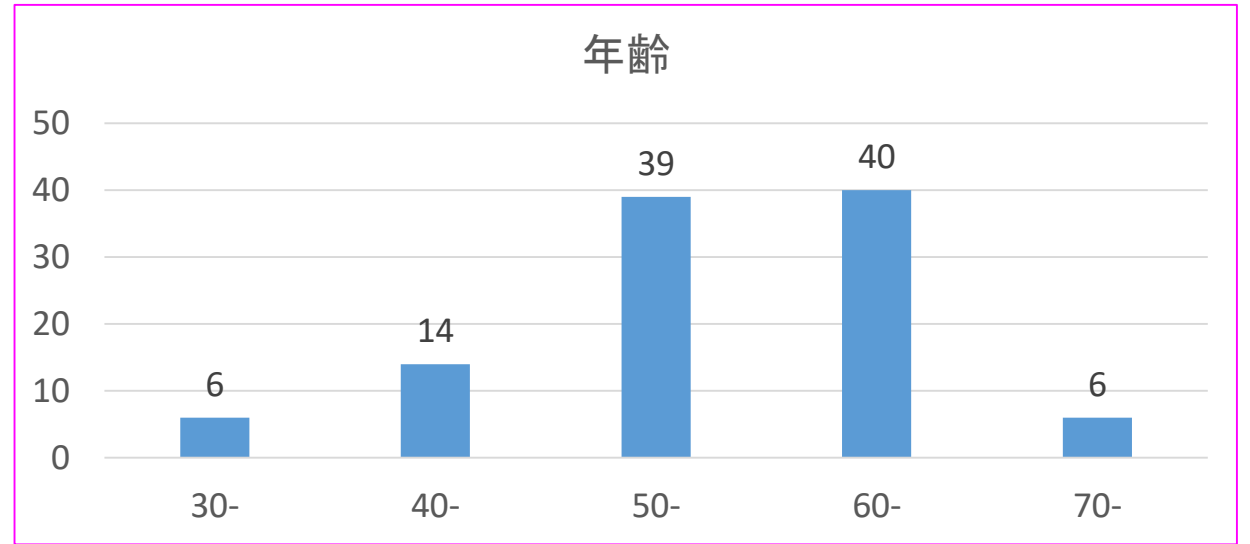
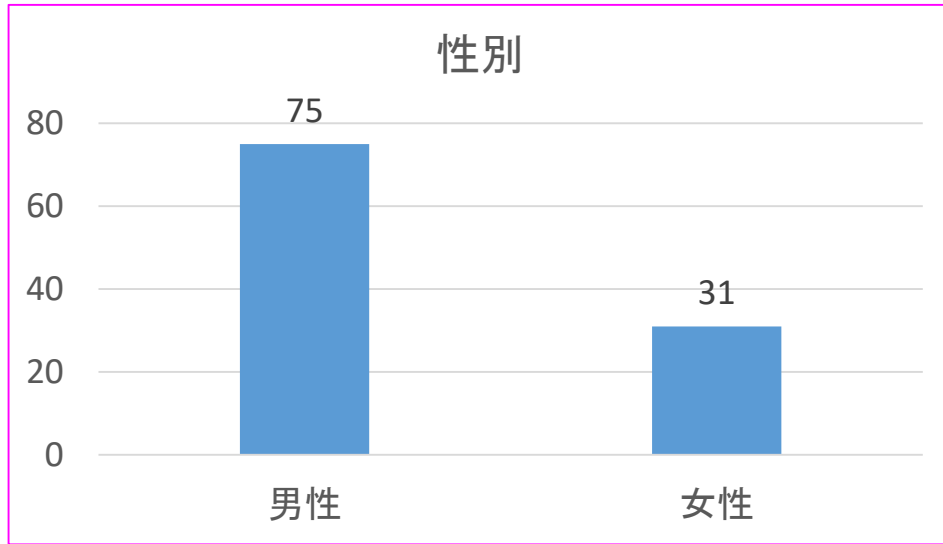
# 2023年度胃癌症例内視鏡写真

## 症例2 40代男性



矢印の先に早期癌があります

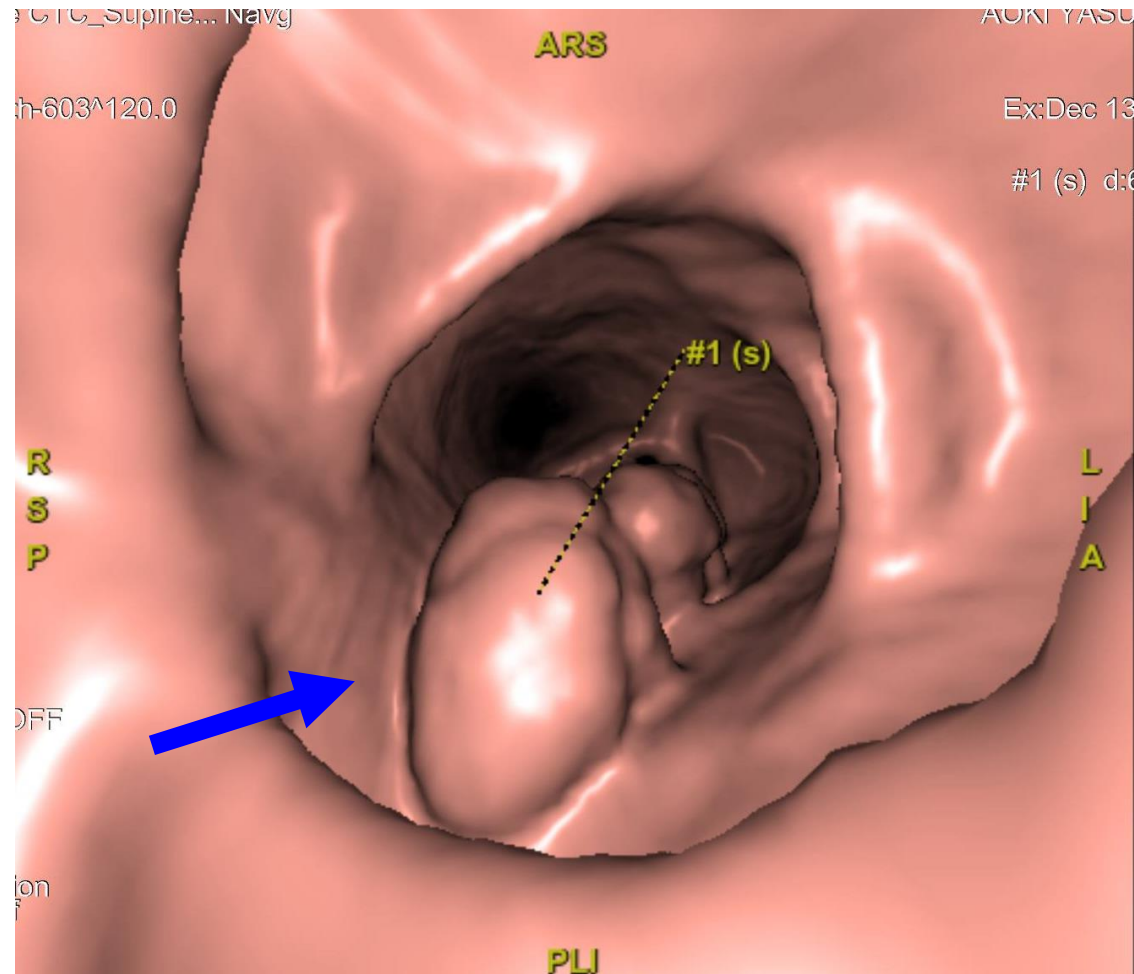
# 大腸がん 2015-2022年度データの解析



大腸癌も男性に多く、**30歳代の大腸癌**の方もおられました。多くが**早期癌**で発見されています。**便潜血反応と関係なく5~10年に一度大腸内視鏡検査あるいは大腸CT検査を受けると、有意に生存率が向上すると報告されています。**

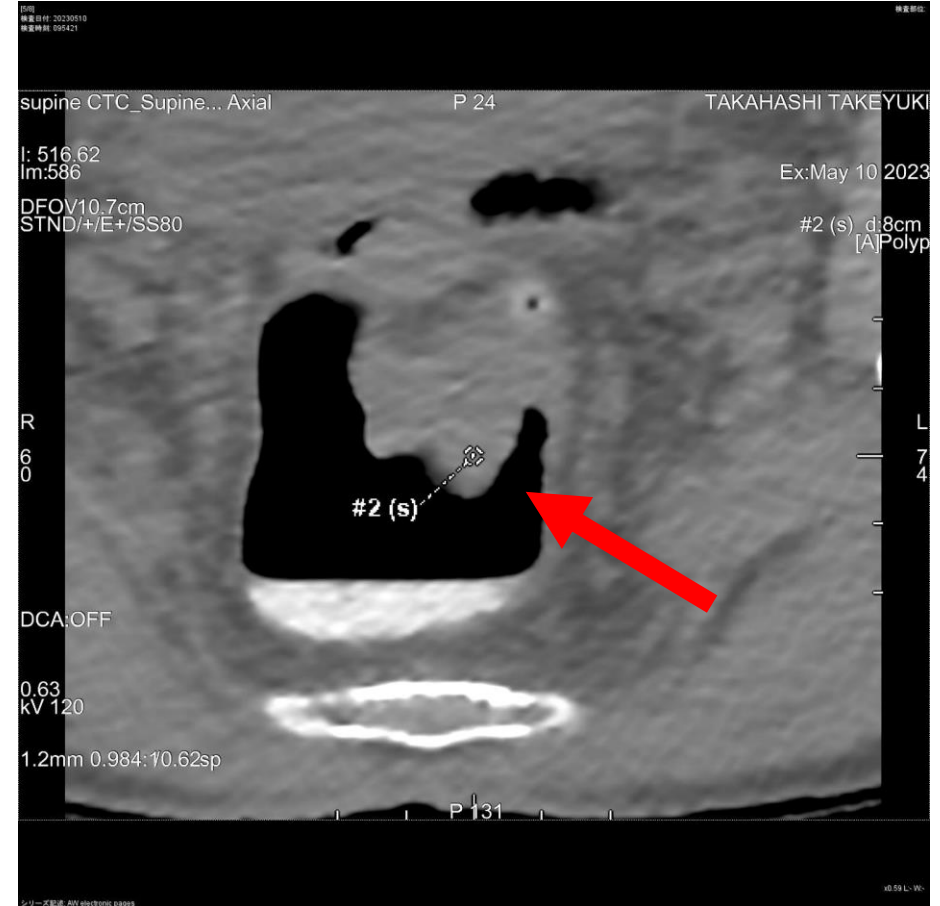
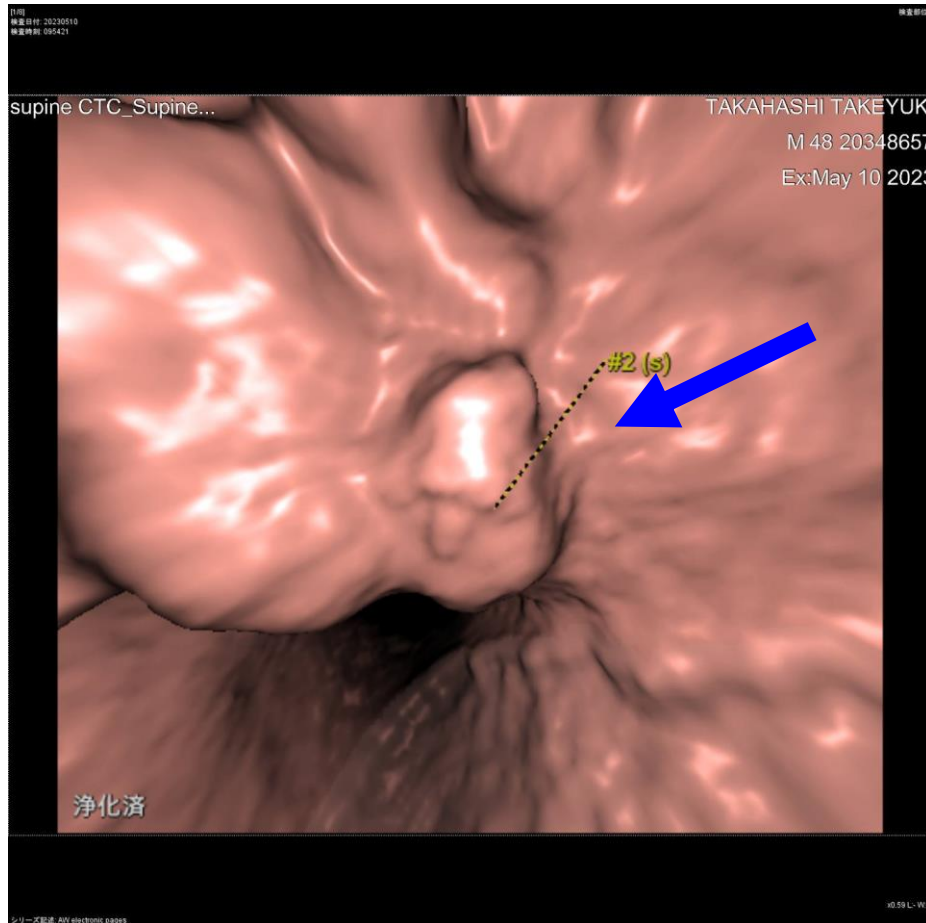
# 大腸癌・CTによる内視鏡画像

60代 男性

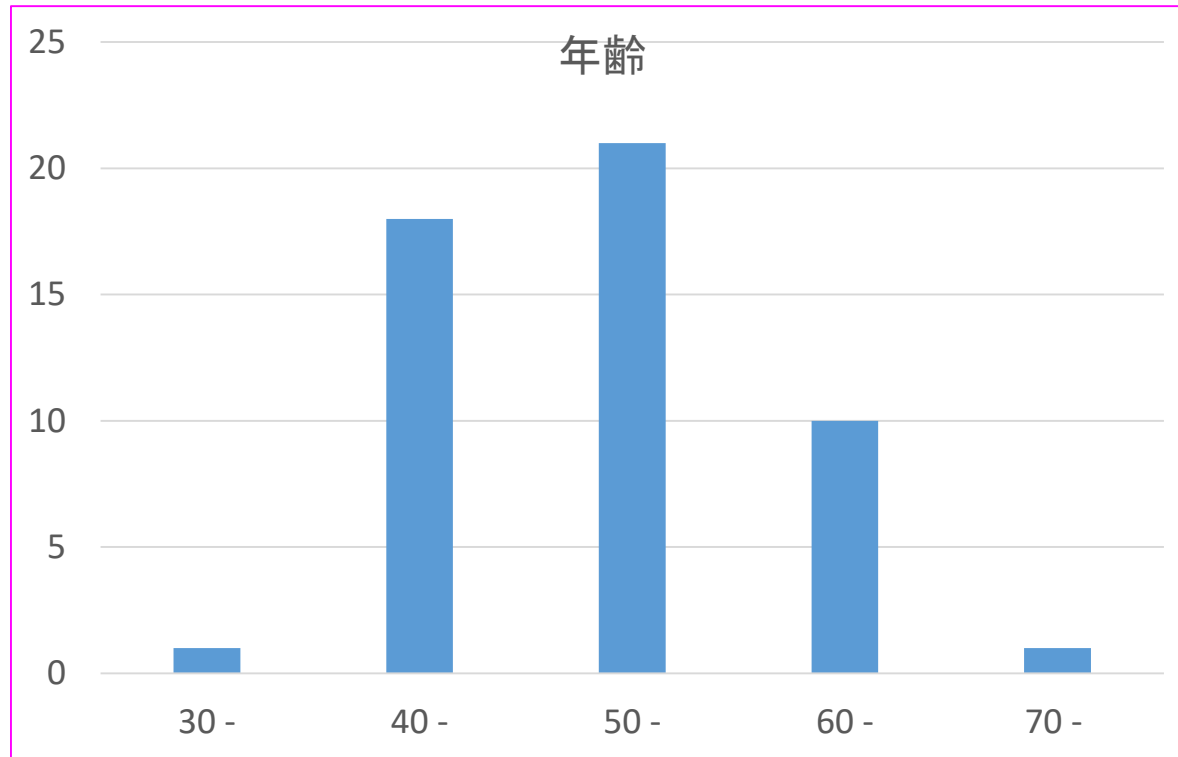


# 大腸癌・CTによる内視鏡画像

40代 男性



# 乳がん 2020-2022年度データの解析



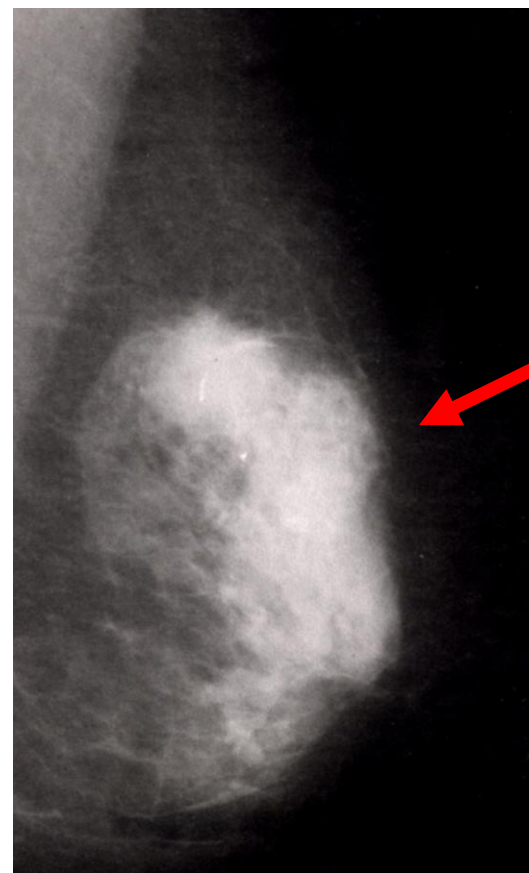
**女性で最も多いがんで、若年層に多い傾向がみられます。**

# 乳癌症例マンモグラフィ写真

症例1 70代女性

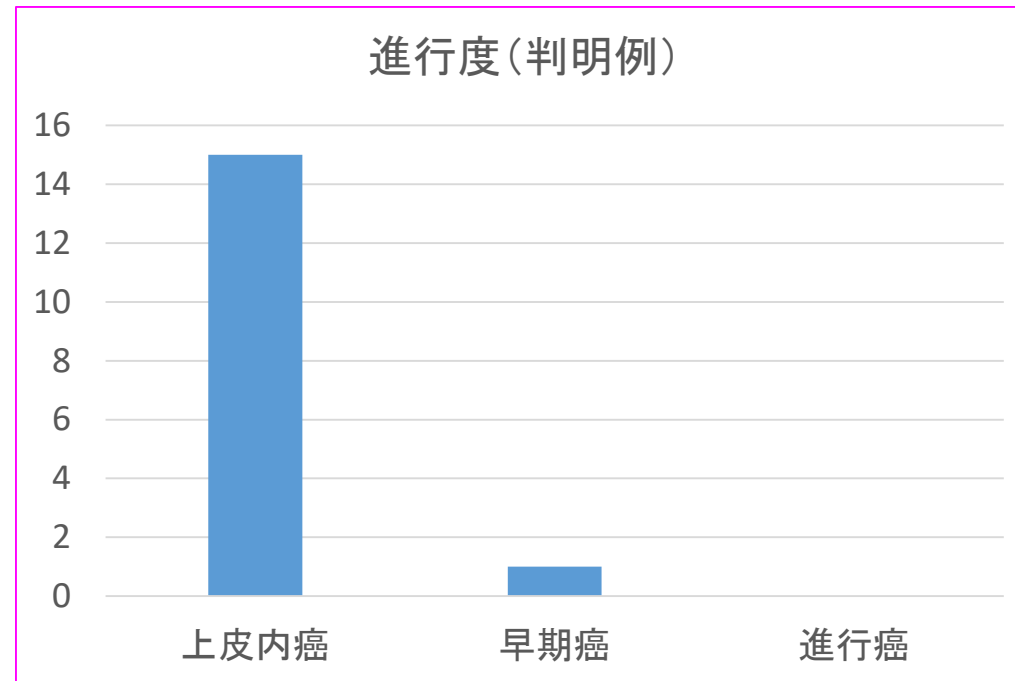
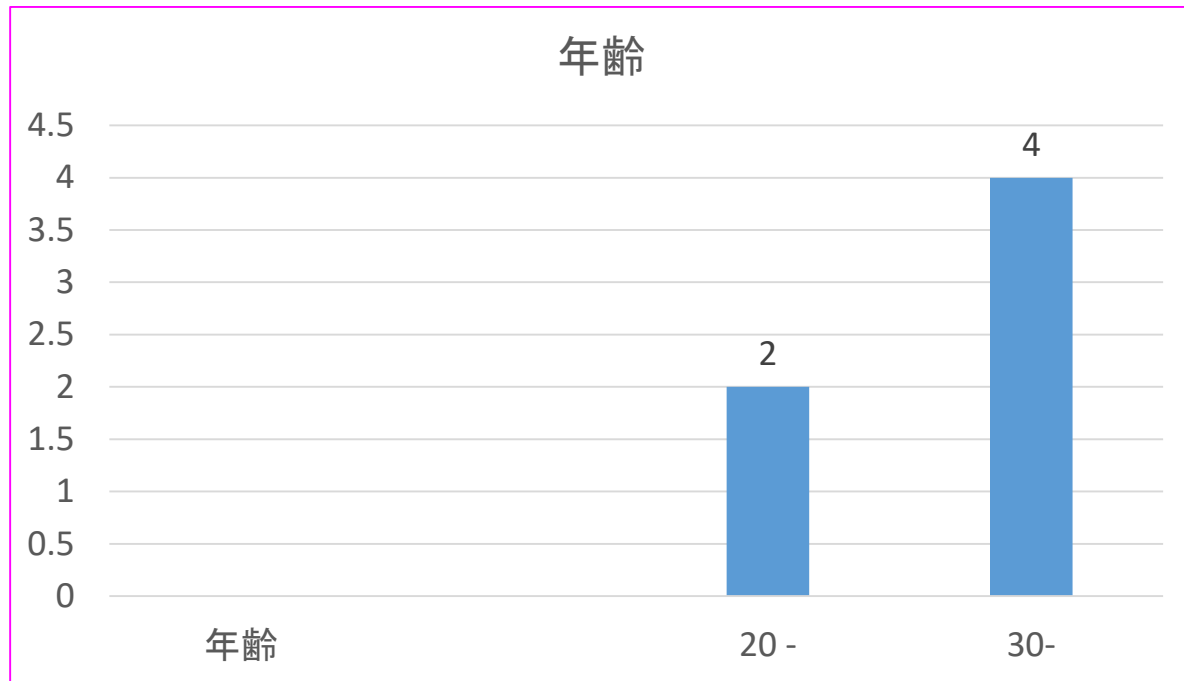


症例2 60代女性



矢印の先に乳癌があります

# 子宮頸がん 2020-2021年度データの解析



20、30歳代で発見された方もおられます。ほとんどがごく早期の上皮内癌で発見されています。

## 最後に

- 精密検査を何年も受けないで、進行してしまっただ方もおられます。事情があるとは思いますが、ご本人、ご家族、職場や社会のためにも、**必ず精密検査を受けてください！**
- 当会でも**CT,MRI**による検査や**内視鏡**による**食道、胃の検査**また**大腸検査**などの二次精密検査を行っております。
- 治療が必要な場合には、当会から大学病院、仙台オープン病院、県立がんセンターなど、ご希望の病院に紹介させていただいております。